

パーキンソン病治療の最新動向

生活の質の向上を目指して

国立病院機構 仙台西多賀病院
院長 武田 篤 先生

主 催：全国パーキンソン病友の会岩手県支部

後 援：岩手県（健 第1069号）

日 時：2026年5月10日（日）13:30～15:30

場 所：北上市文化交流センターさくらホール（小ホール）

住所：北上市さくら通り二丁目11番1号

対 象：パーキンソン病患者・家族・支援者

参加費：無料（事前申込必要）

連絡先：岩手県支部長 端坂則喜



Tel：080-8086-2746

Mail：parkinson.iwate@gmail.com

【講師プロフィール】

武田 篤(たけだ あつし)先生

仙台西多賀病院 院長／脳神経内科部門長

東北大学連携大学院 高齢者認知・運動機能障害学講座 客員教授

1985年 東北大学医学部卒業。1992年 同大学大学院にて医学博士号取得。

東北大学病院で神経内科医として研鑽を積んだ後、1998～99年にアメリカ・ケースウェスタンリザーブ大学に留学。

2013年より仙台西多賀病院副院長、2014年より現職の院長として、同病院の神経内科診療とパーキンソン病医療の中核的役割を担う。

専門はパーキンソン病・神経変性疾患・認知症など。

国際学術誌『Brain』などで数々の研究成果を発表し、2012年には日本神経学会「檜林賞」を受賞。

『パーキンソン病治療ガイドライン 2018』では副委員長として改訂に携わるなど、日本のパーキンソン病治療の発展に大きく貢献している。

現在も外来・入院診療に加え、医療従事者への教育、市民講座での講演活動などを通して、患者と家族に寄り添う医療を実践し続けている。

